

3年間を見通した年間指導計画作成 演習

施設・設備、生徒の実態

テーマ

メンバー

石橋和彦(深堀中), 蔭平好親(淵中), 佐々木貴(西大村中), 内川尚浩(日宇中), 木下春生(長田中), 小八重智史(西泊中)

学期	1学期												2学期										3学期			合計											
	4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月								
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週	
週																																					
第1学年	内容	A(1)5時間					A(2)(3)30時間																														3 5 時間
	¥																																				
週																																					
第2学年	内容	B(1)(2)17時間																	D(1)アイウ8時間																		3 5 時間
		C(1)(2)10時間																																			
題材例																																					
週																																					
第3学年	内容	D(2)(3)(1)エ17.5時間																																			3 5 時間
	題材例																																				
週																																					

【ポイント】

新学習指導要領のモデルカリキュラム演習 グループ討議の進め方

- 1 流れ 年間指導計画作成のポイント【熊本先生】(15分) グループ討議の進め方【久保】(5分)
 グループ討議(70分) 休憩(10分) 発表(20分) 講評【熊本先生】(10分) 討議(30分)

2 討議内容

- ① 5人1組のグループを作る(事前にグループ分けを行っておく。各班の司会は運営委員が行う)

○事前に運営委員でグループ分けをしておく。

○各班の司会は運営委員が行う。発表者を1名決める。

- ② 記入例をもとに3年間の見通した年間指導計画を作成する。

○まず、内容の欄に新学習指導要領の内容を配置していく。

○ポイントの欄に、配慮した点や理由、利点・弊害などをまとめる。

○時間があれば、題材例の欄に具体的な題材を箇条書きで書く。

- 3 グループの内、5班を選出し、1班3分程度で発表を行った後、講評。

★★★ 記入例 ★★★

学期		1学期												2学期												3学期									合計		
		4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
週		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第1学年	内容	生活や産業の中の技術				情報通信ネットワークと情報モラル デジタル作品の設計・製作												プログラムによる計測・制御 D(3) 生物の生育環境と育成技術 C(1)									3 5 時間										
	題材例	A(1)				D(1)(2)																															
		○技術の役割と3年間の学習の見通し ○製品のライフサイクル				○パソコン室の利用の仕方 ○情報処理の仕組み(デジタル化の方法・情報量) ○情報通信ネットワークの仕組み ○著作権・情報モラル ○Webページの作成 ○自由研究のプレゼンテーション												○プログラムによるロボットの制御 ○生育環境と生育技術 ○ミニトマトの養液栽培																			

【ポイント】

- 情報モラルの低下による携帯電話・インターネット利用におけるトラブルが近年増加しているため、第1学年前期に「D(1)情報通信ネットワークと情報モラル」を配置した。
- 総合的な学習の時間や他教科において学習発表の際、パワーポイントを使った発表ができるように第1学年前期に「D(2)デジタル作品の設計・製作」を配置した。
- 「C生物育成」を春をまたいで学習ができるように第1学年後期と第2学年前期に配置した。また、D(3)と平行して実施する。